

# 2 学年通信

新宮町立新宮東中学校  
令和7年4月23日 第10号  
文責:江頭 俊輔

[本を読もう!]

今日、4月23日は何の日か知っていますか?今日は、「世界本の日」です。英語表記では、「World Copyright Day」となっており、「世界図書・著作権デー」とも呼ばれています。

さて、みなさんはどれくらい本を読んでいるでしょうか。全国学校図書館協議会では、学校読書量調査を行っています。この調査では、「5月1か月間に読んだ本の冊数」「5月1か月間に読んだ雑誌の冊数」を毎年、同じ時期に調査しています。第69回調査(2024年)の結果が公表されているので、紹介します。

2024年5月1か月の平均読書冊数

| 小学生   | 中学生  | 高校生  |
|-------|------|------|
| 13.8冊 | 4.1冊 | 1.7冊 |

また、全体における不読者(5月1か月間に読んだ本が0冊の児童生徒)の割合は

| 小学生  | 中学生   | 高校生   |
|------|-------|-------|
| 8.5% | 23.4% | 48.3% |

となっています。中学生で考えると1/4の生徒が読書をしない生活を送っているようです。これを多いと思うか、少ないと思うかは人それぞれかもしれません。しかし、私は読書でこそ、得られる知識や経験、感情があるはずだと考えています。

とは言っても、私もそんなにたくさん本を読んでいる訳ではありません。私の2024年を振り返ると(スマホのアプリ管理している読書記録を参考にしているのですが)、1年間で44冊しか読書をしていませんでした。前述の調査結果で小学生が1か月に13.8冊を読んでいることを考えるととても微々たる量です。また、調査結果から分かることとして、年齢が上がるほど、読んだ冊数が少なく、また不読者の割合が増えていることに気付くはずで

す。環境的な要因も大きいと考えています。スマホやインターネットが娯楽の中心となった現代では、その情報収集のスピード感覚にとっても重きが置かれています。例えば、みなさんがよく見るであろう「ショート動画」は30秒~1分に満たないとても短い時間に面白さが詰め込まれている娯楽です。「あまりにも長すぎる動画は見ない」という人も多いのではないかと思います。現代の風潮として、「面白い」の中に知らず知らずの内に「早い」が内包されているのが娯楽の基本となりつつあるのではないかと思います。

読書というのは、いわばこの真逆です。1冊の本を読むのに、早ければ2~3時間、遅ければ1週間や2週間と時間をかけて読む人もいます。スマホやインターネットと違い、読書は面白いと感じるまでにとても時間がかかります。ここが読書をする人がなかなか増えない理由の1つなのかもしれません。

[楽しみ方は人それぞれ、人生を変えるような出会いがあるかも?]

私は、「早く受け取るものは早く忘れる」と思っています。例えば、昨日見たショート動画の内容をすべて覚えていますか?たった30秒の内容なのに、もう忘れてる人もいます。一方で、時間をかけて読んだ本の内容は覚えていることが多いと思います。私はたまに、あの本のこの人物が言った台詞って何だったっけ?と本を再びめくることがあります。なかなか見つけられないのですが、とても楽しい時間になります。「いやいや、そんな訳ないだろう!」と思う人は、ひとまず本を1冊読むところから始めてみましょう。きっと素敵な出会いが待っているはずで